

厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表について

1. 授業計画書（シラバス）の作成・公表に係る取組の概要

各授業科目については、年2回開催している業界関係者、有識者および学園職員で構成する教育課程編成委員会の意見を十分に生かし、学内のカリキュラム作成委員会により教育課程の作成を行い、授業科目の設定・講義内容についての検討に基づき、各授業科目の担当者が作成している。

シラバスは以下の5項目から成る。

- 1 科目名・開講年次・授業時数・単位数・種類・分類・授業方法・担当教員
- 2 講義主要目標及び講義概要
- 3 講義・演習項目
- 4 テキスト
- 5 成績評価

作成時期は2～3月上旬、公表時期は3月末とする。

2. 授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要

- (1) 単位は、前期試験受験者・後期試験受験者に対して考査の上、与えられる。ただし、前期試験・後期試験は、科目ごとに出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は受けることができない。
- (2) 科目ごとに出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、補講への出席・課題の提出を行った上で追試験を受けることができる。
- (3) 前期試験・後期試験において著しく点数が低い者は再試験を受けることができる。
- (4) 成績は、秀・優・良・可・不可に分け、秀・優・良・可を合格とし、不可を不合格とする。成績評価は、期末試験・授業期間中に実施するテスト・実習の成果・履修状況等を総合して判断する。
- (5) 合格者の成績評価割合は、成績上位から10%程度を秀、30%程度を優、50%程度を良、10%程度を可とする。ただし、東京法律公務員専門学校法律学科司法試験コースにおいては、100点～90点を秀、89点～80点を優、79点～70点を良、69点～60点を可とする。
- (6) 合格した授業科目については、所定の単位を取得したものとする。

3. GPAの設定・公表に係る取組の概要

- (1) 学期末に上記2の成績評価に基づき、秀・優・良・可・不可の評価を行う。
- (2) 上記の評価に基づきGPAを算定する。

① 1単位当たり秀：4.0、優：3.0、良：2.0、可：1.0、不可：0とする。

② $4.0 \times \text{秀取得単位数} + 3.0 \times \text{優取得単位数} + 2.0 \times \text{良取得単位数} + 1.0 \times \text{可取得単位数} = \text{GPA換算数}$

③ $\text{GPA換算数} \div \text{総履修単位数（不可の履修単位数を含む）} = \text{個人のGPA（小数点3位を四捨五入）}$

（実施時期）

前期（4月から9月）、後期（10月から3月）の2回実施し、3月末に年間GPAをシステム上で算定する。

4. 卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要

(1) 進級基準

- 2年制学科：1年から2年へ進級時 46単位
- 4年制学科：1年から2年へ進級時 46単位
- 2年から3年へ進級時 累計92単位
- 3年から4年へ進級時 累計138単位

(2) 卒業の認定方針

各学科とも、修業年限以上在籍し各学科所定の単位数を修得するとともに、以下の素養を身につけた学生に対して卒業を認定する。

| | |
|----------------|---|
| 法律学科（4年制） | 法律及び文化教養に関する正しい知識と的確な技能、特に本学科では将来の司法試験合格を目指し、法科大学院への進学を目的とするので、法律の深い理解はもちろんのこと、幅広い教養を身につけ、社会的な常識を備える。 |
| 法律学科（2年制） | 文化教養に関する正しい知識と的確な技能、特に本学科では公務員試験や国家資格試験合格を目的とするので、法律学や経済学などの知識を修得する。 |
| 法律ビジネス学科（2年制） | 事務系公務員試験合格を目的とするので、ビジネスに求められる資格・知識、及び幅広い職業選択ができるための広い視野を修得する。 |
| 法律社会学科（2年制） | 警察官・消防官・自衛官試験合格を目的とするので、教養全般の知識の修得、体力試験に向けた体力の強化、及び正義感と精神力を身に付ける。 |
| 不動産ビジネス学科（2年制） | 宅地建物取引士試験に入学後半年で合格することを目的とするので、不動産に関する法律の知識の修得、及び不動産業界において即戦力となる教養やマナーを修得する。 |
| 行政学科（1年制） | 国家公務員一般職、地方公務員初級試験合格を目的とするので、教養全般の知識の修得、及び社会人として必要な礼儀やマナーを修得する。 |
| 法律研究学科（1年制） | 公務員試験に確実に合格することを目的とするので、そのために必要な知識を修得し、理解を深める。 |

(3) 卒業単位

卒業するために必要な単位数を、次のとおりとする。

- 1年制学科：40単位
- 2年制学科：86単位
- 4年制学科：178単位

(4) 卒業判定会議を卒業年次の2月末に実施する。